

第9期定時株主総会 質疑応答要旨

第9期定時株主総会におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ご来場をお控えになられた株主様も多くいらっしゃると思われますので、当日株主総会において株主様から頂戴したご質問につきまして、その要旨を掲載させていただきます。

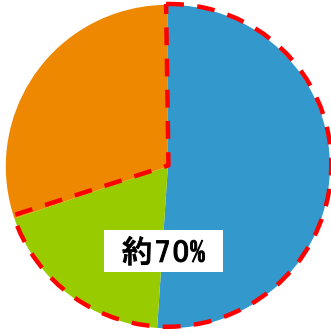
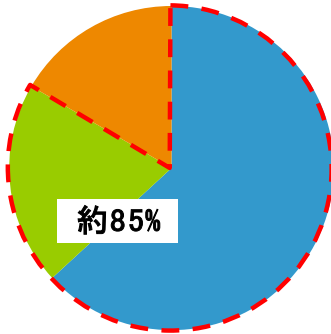
- 開催日時： 2020年6月26日（金） 10:00～11:07 （所要時間 1時間7分）
- 開催場所： 三井住友信託銀行本店ビル5階 会議室
- 来場株主数：58名

<要旨>

① 社内取締役の重要な兼職について	
質問	・社内取締役が他社の取締役を兼職する理由等について教えて欲しい。
回答	・各社よりコーポレートガバナンスの強化等を目的に社外取締役の就任要請を受け、各社との関係を踏まえ、当社で蓄積した経験・知見を活かすべく就任を引き受けたもの。

② 当社におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取組み状況について	
質問	・経済産業省が選定しているDX銘柄への応募状況および当社におけるDXに関する対応状況について教えて欲しい。
回答	・DX銘柄には応募していないが、デジタル技術に関する取組みを経営課題と捉え、中期経営計画にしたがって積極的にデジタル技術に関する戦略を推進していく。

③ 剰余金の配当の決定機関について	
質問	・剰余金の配当を株主総会決議ではなく取締役会が決定することについて考えはあるか。
回答	・他社において取締役会が剰余金の配当の決定を行う事例があることは認識しているが、剰余金の配当は株主様にとって大変関心の高い事項であることを踏まえ、当社においてかかる方法を採用するか否かについては慎重に検討していく。

④	今後の個人トータルソリューション事業の戦略について
質問	<p>・三井住友信託銀行における世代別の顧客数及び預かり残高の割合に関する足許の状況、並びにシニア層等の高齢者の割合が多数を占める顧客構造の変革に向けた今後の事業戦略を教えてください。</p>
回答	<p>・今後の事業戦略については、中期経営計画にしたがい、資産形成層と言われる比較的若い世代のお客様を含む、幅広い世代のお客様にコンサルティングサービスを提供する機会を拡充していく。そのために、非対面でのコミュニケーションを含む利便性の高いチャネルの構築を進めている。</p> <p>・中期経営計画の3年間では、今後の持続的かつ安定的な成長の実現に向けた基盤を確かなものとするべく、当グループの強みであるシニア層のお客様へのサービスのご提供だけでなく、幅広い世代のお客様との取引を増やしていくことを目指しており、特に若い世代に対しては、住宅ローン、積立型投信及び確定拠出年金等に関する様々な取引機会を通じて、取引の拡大、お客様の数の増加に取り組んでいく。</p> <p>・なお、議場においてご質問のあった世代別の顧客数・預かり残高の割合に関する足許の状況(2020年3月末)は下表のとおり(いずれも一年前と比較して大きな変化は無し)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>顧客数(世代別)</p>  <p>■ シニア層 (65才以上)</p> <p>■ 退職前後層 (55才以上～64才以下)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>預かり残高(世代別)</p>  <p>■ シニア層 (65才以上)</p> <p>■ 退職前後層 (55才以上～64才以下)</p> <p>■ 資産形成層 (54才以下)</p> </div> </div>

以上